

30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

北雪
美談

春水
著作

時代鏡

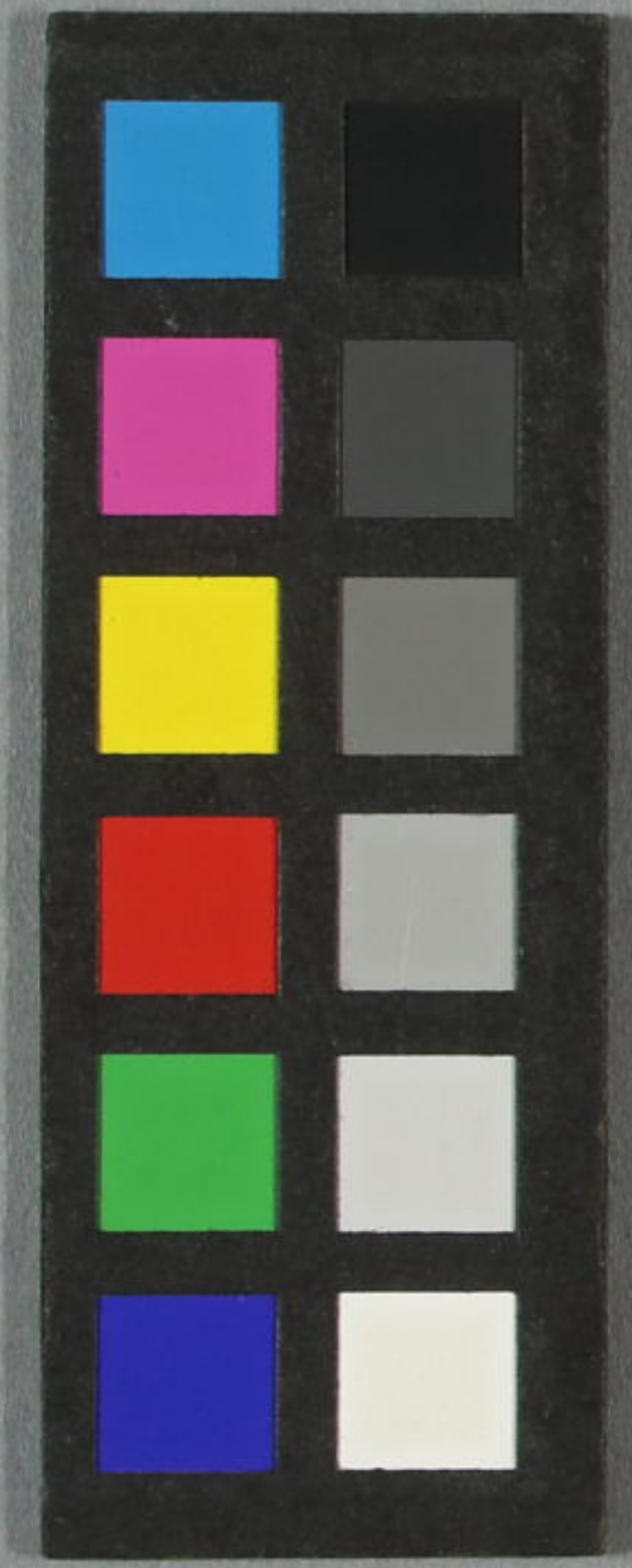
四十
一編

國貞
畫圖

若林堂



^ 13
3756
15





北雪
美談
時代鏡

四拾壹編上

為
水
作

橋
蝶
園
負
重



門へ13
 號3756
 卷15

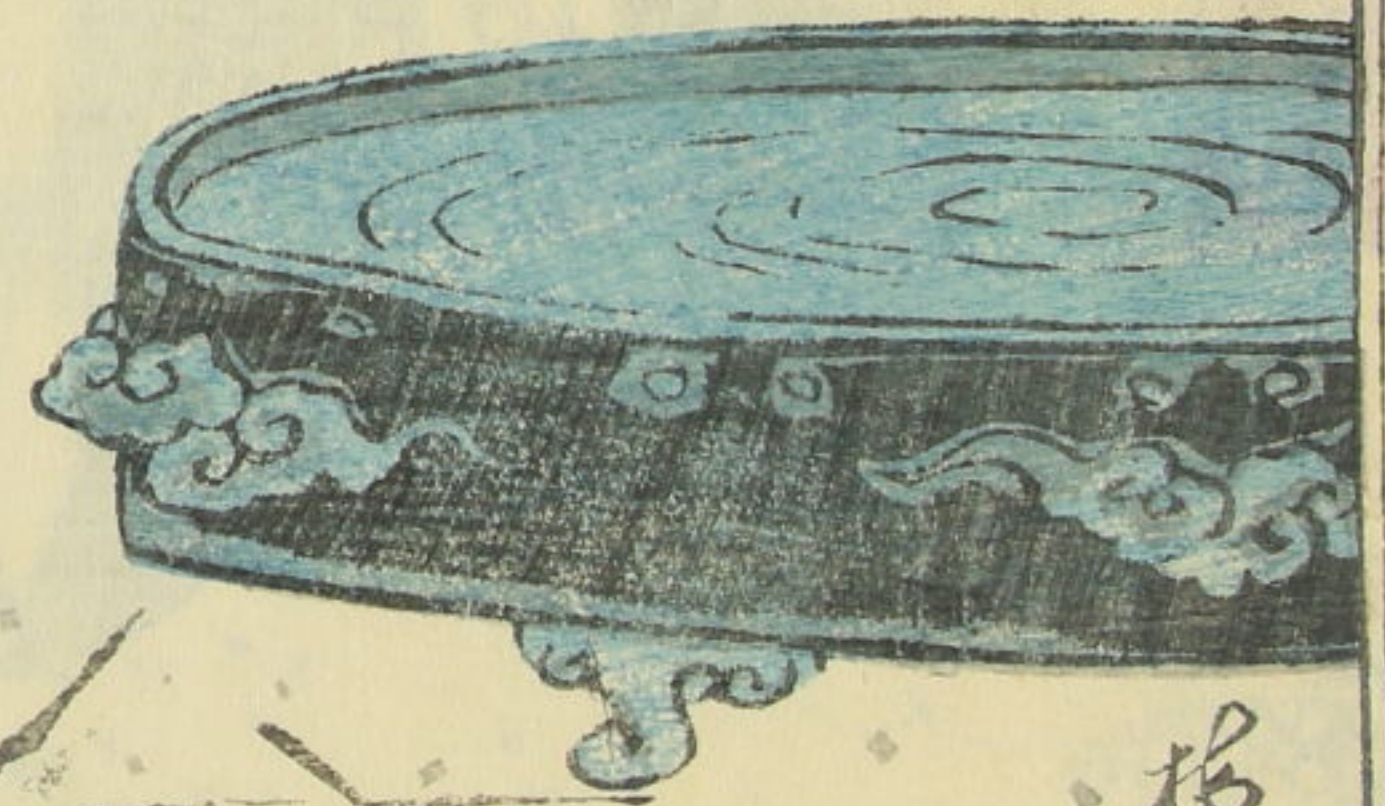
時代加賀見

四十壹篇

上之卷

為永春水化
 歌川國貞画

若白



梅屋

林間小酒をいづる

紅葉を焚くとあん

賦したる風流小事變をど

玩小時雨降る十月の旬の十日の日の

短き心もを雇ふると諺ふさ言ふ

あまの儀近頃多忙ゆゑのものと俗事小かまは

些九三草紙小無沙汰を

春が开處中を来く居る小何様

為まゝと書房より屢言を術を小其言譯と

右小左と並べ立つ端書小換也

春水誌也



時代加賀見



正香 丹四郎 光照

寺



女盜賊の 首領の 妙義の 稻妻

年 十 四 十 一





手
 二
 一

時
 代
 四
 十

六

ついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...
そのついでにそのついでに...



合その...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...

このついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...



合その...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...
そのついでに...

國貞画



春水作

春水作の山水は、自然の美を巧みに描き出し、墨の濃淡と筆の運びが、静寂な中に生命力を帯びて見える。この春水作は、その筆致の流麗さと構図のバランスが、見る者の心を捉へていく。

風流画半切

越前奉書紙
伊豫奉書紙

綿紙乃何半切
かへむ一何半切

狂齋百圖全

狂齋画

狂齋の百図は、狂気の筆で描かれた、世に於ける様々な人物や情景の縮図。その筆致は、時に激しく、時に繊細で、見る者の想像力を掻き立てる。

上 斎初め次筒

上 斎初め次筒

包 括の 包

月録包

當年 新板 斎初め次筒

東小 子代紙
斎初め次筒

若林堂板

忠臣義士銘々傳

猛齋芳虎画

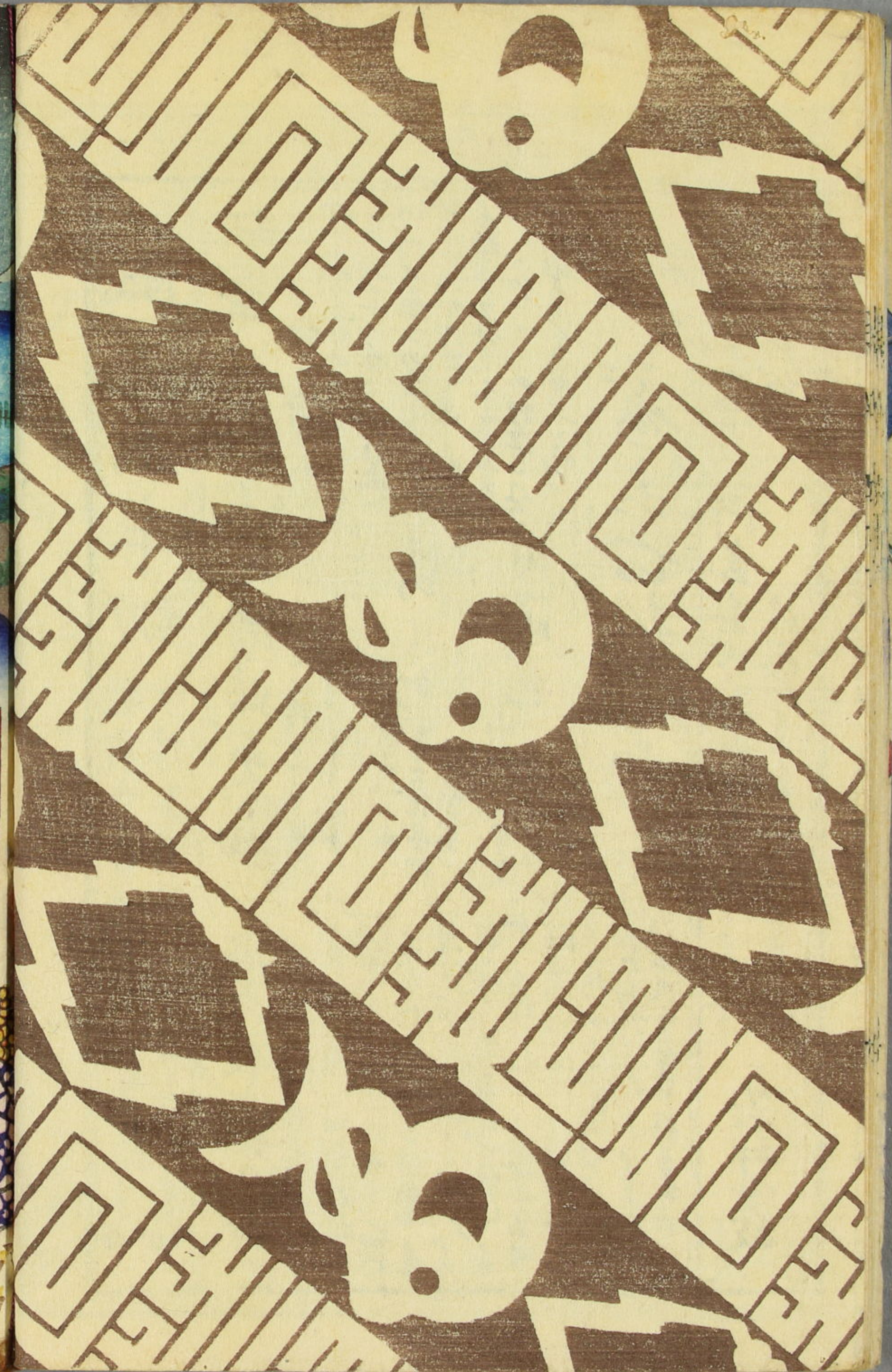
忠臣義士の銘々傳は、歴史上の英雄たちの姿を、力強い筆で描き出した。その姿は、勇気と忠義を体現し、見る者に感動と勇気を与える。



辛未新春

若林堂板

四拾壹編下



此の物語は、
 昔の事なり
 其の事は、
 今も語り
 傳へられ
 たり。



此の物語は、
 昔の事なり
 其の事は、
 今も語り
 傳へられ
 たり。



此の物語は、
 昔の事なり
 其の事は、
 今も語り
 傳へられ
 たり。



合かの
あのをしほも
るひゆれしと
あゆくむつて
はらうらま
わつてもせつちやま
びりあちあてかれら
のせいひえぬやう
いんのもちあちあ
とあねいふあち
あちあちあちあち

寺
四

んん今
まらあ
あちあ
あちあ
あちあ



つたてあつて
のちやうやう
さうさうさう
あもそのかひ
あしそのうい
あちあちあち
あちあちあち
あちあちあち
あちあちあち

あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち

あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち
あちあち

年
四
一

明治四年辛未新年刺目録

北雪
美談

時代加賀實

四十一編
四十五編
追出板
為永春水作
歌川國貞画

雜談兩夜質庫

六編
七編
出板
為永春水作
一陽齋豐國画
門人 國久画

池園の語

初編
二編

庭訓武藏鏡

應賀作
六編
國貞画

山々亭有人作
歌川國貞画

地本草紙問屋若林堂

芝神明前
若狹屋與市梓

朝鮮牛肉丸
金三朱
小包
朱
文

下谷三郎
深崎氏製

為永春水作
梅蝶樓國貞画



甲子年四月

明治四年辛未正月

